

科目名	コース別実験	英語科目名	Laboratory in Electrical and Computer Engineering Courses
開講年度・学期	平成28年度・前期	対象学科・専攻・学年	電気情報工学科5年
授業形態	実験・実習	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	学修単位(実験・実習)
担当教員	甲斐隆章、千田正勝、 築地伸和	居室(もしくは所属)	甲斐:管理棟3階 千田:専攻科棟5階 築地:未定
電話	甲斐:内線229 千田:内線243 築地:未定	E-mail	kaiser@小山高専ドメイン名 senda@小山高専ドメイン名 未定
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育 到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 誘導電動機に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
2. 変圧器に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
3. 直流電動機に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
4. 同期発電機に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
5. 系統連系保護リレー装置に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
6. ハブ/アンプ応用に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
7. 受動フィルタに関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
8. 自動計測に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
9. 太陽電池に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
10. 半導体薄膜に関する実験実施、結果報告、課題考察ができる。	②	B	d-2, d-3, e, g, h, i
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標1~10:実験の実施状況・口頭試問・報告書によって評価し、各々60%以上の得点で達成とする。			
評価方法			
到達目標1~10:実験の実施状況(30%)、口頭試問・報告書(70%)で評価する。 科目としての総合成績は、到達目標1~10の平均で評価する。 評価にあたっては、全ての実験報告書が期限内に提出されていることが必須条件である。			
授業内容			
回	コース	テーマ名	
①	(α コース)	誘導電動機の特性測定	
②	(α コース)	変圧器の特性測定	
③	(α コース)	直流電動機の特性測定	
④	(α コース)	同期発電機の特性測定	
⑤	(α コース)	系統連系保護リレー装置の特性測定	
⑥	(β コース)	オペアンプ応用回路	
⑦	(β コース)	受動フィルタの周波数特性測定	
⑧	(β コース)	パソコンによる自動計測	
⑨	(γ コース)	太陽電池の光応答特性に関する実験	
⑩	(γ コース)	半導体薄膜の光電気特性に関する実験	
(α : 電磁環境, β : 情報計測, γ : 電気物性)			
キーワード	電磁工学実験、情報工学実験、物性工学実験		
教科書	学科編「コース別実験指導書」(2016)		
参考書	講義で使用している各種テキストおよび実験指導教員が準備する各種テキスト		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	電気情報工学大系、情報工学 I, II, III, IV、電気情報工学実験(1, 2, 3, 4年)、電気回路学 I, II、電子回路 I, II、電気電子計測、電子工学、電気機器工学、過渡現象論、電子デバイス工学、パワーエレクトロニクス、プロジェクトワーク、エレクトロニクスデザイン		
現学年の関連科目	フォトリソグラフィ材料、メカトロニクス、電力システム工学		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
理解困難な点は随時学習相談に応じる。電子メールでも受け付ける。 各テーマの実験を行う前に十分な予習をしておくことが求められる。			
シラバス作成年月日	平成28年2月29日作成		